

平成29年度 一般社団法人新潟県介護支援専門員協会 事業計画

委員会・事業名	一般社団法人新潟県介護支援専門員協会（全体に係る事業）
---------	-----------------------------

1 事業方針概要

新潟県介護支援専門員協会（以下「県協会」）は、介護支援専門員の職能団体として個々の資質の向上を図るとともに、専門性を高めるために必要に応じて各委員会に部会を設置し、次の事業を実施する。

(1) 各委員会と連携・調整を図りながら、組織及び運営体制の強化に努める。

①総務・企画委員会・県協会及び日本協会の会員拡大及び組織強化のため、ブロック活動の活発化を図る。また、各研修会で入会案内を行う。

②研修委員会 ・研修効果の向上のため総務・企画委員会との役割分担を図りながら事業を再構築し、研修効果と質的向上に努める。

③養成研修委員会 ・新研修制度が実施され2年目となることから、新研修制度の確実な定着を図ると共に質の高い研修を円滑かつ確実に実施する。

(2) 事務局体制及び財政基盤の確立に努める。

2 活動内容(主たる活動、定例会議等)

活動内容	実施予定時期・月日	備考
理事会	第1回 5月18日(木)	前年度活動報告・決算案
	第2回 2月15日(木)	次年度活動計画・予算案
社員総会	第1回 6月22日(木)	前年度活動報告・決算案
	第2回 3月15日(木)	次年度活動計画・予算案
各委員会との協議	随時	各委員会開催時に協議

3 通年の基本活動

内容	実施予定時期・月日	具体的な活動
三役会議	5月11日(木)	理事会、総会への議案協議、準備
	2月2日(金)	
委員長会議	随時	・各委員会における事業計画の進捗状況確認 ・次年度計画協議・検討、準備
	1月12日(金)	
その他	10月8日(日)	実務研修受講試験業務委託事業(監督員)

平成29年度 一般社団法人新潟県介護支援専門員協会 事業計画

委員会・事業名	総務・企画委員会
---------	----------

1 事業の活動方針

県内を5ブロックに分けた新制度の下で役員改選が行われた。この新たな体制が整ったことを受け、その体制強化と充実を図るため次の取り組みを行う。

- (1) 多様化する協会活動を円滑に実施するため、組織の在り方を検討する。
- (2) ブロックの活性化を図るため、研修会の実施を支援する。
- (3) 主任介護支援専門員部会を新たに創設し、そのあり方を1年かけて検討する。
- (4) 近年、多発する様々な自然災害に対応するとともに新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会等との連携を円滑にするため、体制整備や研修会を実施する。
- (5) 日本介護支援専門員協会甲信越ブロック研修会をはじめ、各種伝達研修へ会員を積極的に派遣し、専門性の高い介護支援専門員の育成に努める。
- (6) 平成30年度の役員改選に向け、選出規程の見直しを行う。

2 活動の内容（定例会議等）

活動内容	実施予定時期・月日	備考
委員会定例会議	4月、11月、1月	組織の在り方検討 事業の計画・実施の検討 入会促進の検討
ブロック活動への対応	随時	ブロック活動の運営・調整
主任介護支援専門員部会の開催	随時	部会活動の運営・調整
災害対応	随時	災害関連団体との調整、会議・研修会への会員派遣
伝達研修への対応	随時	運営上必要と認められる内容に関する研修への会員派遣
選挙管理委員会の開催	随時	次期（平成30年度）役員改選の準備・検討

3 年間の基本的活動

内容	実施予定時期	会場	参加対象者	備考
社員総会の運営	6月22日(木) 3月	6月 新潟市 江南区文化会館 3月 未定	全会員	左記以外の臨時社員総会は必要に応じて適宜開催
ブロック活動の運営・調整及び支援	各ブロックが定める	県内5ヶ所 (各ブロック)	各ブロック 会員	地域の現況共有・会員相互のネットワーク形成の促進を目的。
主任介護支援専門員部会の運営・調整	通年	協会事務局 他	部会員	主任介護支援専門員の組織化の検討
災害対応	通年	協会事務局 他	担当者・ 登録者	平時の組織作り、発災時のフローの整備、登録者支援
受験対策講座の開催	7/30, 8/20 9/3	燕三条地場産業 振興センター	70名	従来の対策講座と模試を併合し、一体として実施
役員選出に係る検討	通年	協会事務局	選挙管理委員	役員改選の準備・検討
日本ケア福祉専門学校 in 新潟大会	9月	燕三条地場産業 振興センター	300名	第4ブロックと共同開催

平成29年度 一般社団法人新潟県介護支援専門員協会 事業計画

委員会・事業名	研修委員会
---------	-------

1 事業の活動方針

研修委員会は、法定研修以外の研修を管理及び実施し、委員会内においては研修ごとに担当委員とワーキングメンバーを配置して、組織の強化を図る。

また、研修委員会は、そのノウハウを活かして研修内容を充実すると共に、各委員会・ブロックと連携・協力をしながら事業を展開し、介護支援専門員の職能団体として、個々の資質向上を図り専門性を高めることに一層努める。

2 活動の内容（主たる活動、定例会議等）

活動内容	実施予定時期・月日	備考
定例会議	4月、7月、10月、1月	各研修の進捗具合等の確認
全体研修、総会時研修	6月、7月、9月、3月	大規模研修
重点研修	9、10、11月	施設ケアマネ、主任フォローアップ研修
新規（連携）研修	10月、11月	災害、新任研修
新潟県からの受託研修	8月、11月	地域同行型指導者育成、アセスメント研修

3 年間の基本的活動（研修等）

研修名・内容	実施予定時期	会場	参加対象者 (予定人数)	備考
第1回 総会時研修	6月22日（木）	江南区文化会館	250名	
第2回 総会時研修	3月	未定	250名	
第1回 全体研修	7月	燕三条地場産センター	150名	独居高齢者の支援方法について
第2回 全体研修 (医学的知識習得研修)	9月8日（金）	新潟エゾンプラザ	120名	第2ブロックと共同開催
重点 施設ケアマネ研修（老健向）	9月	新潟エゾンプラザ	100名	施設（老健）ケアマネ対象
施設ケアマネ研修（特養向）	10月	新潟エゾンプラザ	100名	施設（特養）ケアマネ対象
主任介護支援専門員 フォローアップ研修	11月	未定	80名	主任介護支援専門員対象
新規 災害対応研修	10月	未定	100名	総務・企画委員会と連携
新任研修（2日間コース）	11月15日（水） 11月16日（木）	新潟エゾンプラザ	80名	養成研修委員会と連携
受託 地域同行型指導者育成研修	8月（2日間コース）	新潟エゾンプラザ	100名	新潟県からの受託事業
アセスメント研修	11月（2回）	新潟エゾンプラザ	100名×2回	新潟県からの受託事業

平成29年度 一般社団法人新潟県介護支援専門員協会 事業計画

委員会・事業名	養成研修委員会（介護支援専門員法定研修）
---------	----------------------

1 事業の活動方針

介護支援専門員が、地域包括ケアシステムの中で多職種と連携・協働しながら、利用者の尊厳の保持を旨とした自立支援に資するケアマネジメントを実践するための研修を実施する。

平成28年度に大きく変わった研修内容の確実な定着を図ると共に、より一層の円滑かつ質の高い研修とするため、十分な検討・協議を行いながら事業を実施する。

- (1) 法定研修は、養成研修委員会、企画会議、研修ワーキング会議及び講師連絡会を、各研修前後に行い、研修の円滑な実施と内容の評価を行って次年度に繋げる。
- (2) 研修実施にあたる事務局体制の強化を図る。

2 活動の内容（主たる活動、定例会議等）

活動内容	実施予定時期・月日	備考
養成研修委員会	4, 7, 9, 11, 1月	研修前後に内容確認、実施後の評価を行なうとともに、研修内容実施体制の調整を行う
研修企画会議	随時	研修内容確認・運営方法の共通理解を深める
研修ワーキング会議	各研修課程実施前	
講師連絡会	〃	

3 年間の基本的活動（法定研修の実施）

研修名・内容	実施予定時期	会場	受講見込み者 (予定人数)	備考
主任介護支援専門員 更新研修【46時間8日】	5月17日～ 6月13日	朱鷺メッセ	200名	1コース
専門研修・更新研修 専門研修課程Ⅰ 【56時間・8日間】	7月18日～ 8月18日	朱鷺メッセ ハイブ長岡	300名	2コース 集合研修はハイブ長岡で実施
主任介護支援専門員研修 【70時間・11日間】	9月20日～ 10月18日	ユニゾン (一部朱鷺メッセ)	160名	1コース
専門研修・更新研修 専門研修課程Ⅱ 【32時間・4日間】	11月1日～ 12月5日	朱鷺メッセ ユニゾン ハイブ長岡	650名	3コース
実務研修【87時間・ 13日間】	12月21日～ 3月27日	朱鷺メッセ ハイブ長岡	350名	2コース 集合研修は朱鷺メッセで実施
再研修・更新研修（実務 未経験者） 【54時間・8日間】	12月21日～ 2月19日	朱鷺メッセ ユニゾン	230名	1コース 集合研修は朱鷺メッセで実施